

「松竹大歌舞伎」中村隼人コメント

今回の巡業「松竹大歌舞伎」では、特別な試みの一つとして、「ご挨拶」をさせていただきます。

毎年お正月に浅草で行われる「新春浅草歌舞伎」では「お年玉ご挨拶」と銘打ち、芝居に先駆けて役者が素顔でお客様の前に出て、これから始まる演目のお話をしたり、皆様に楽しいお話をお届けするという歌舞伎や役者に親近感を持っていただくという趣向がございます。毎回ご好評をいただき、歌舞伎も観たいけれど、ご挨拶も観たいというお客様がたくさんいらっしゃいました。

それを受けまして、私も出演した3月南座での「花形歌舞伎公演」でも「ご挨拶」を行いました。この公演の演目は少し難しい内容でしたので、「ご挨拶」の中で解説もさせていただきます。お客様からは非常に分かりやすく、より楽しめたというお声を数多くいただいております。

最近は歌舞伎をどのように観たらいいのか、作品の時代背景でしたり、あまりご存じでない方は楽しめないかもしれないという雰囲気が生まれていると感じております。そこで、少しでも分かりやすく、お客様に楽しんでいただけますよう今回の「ご挨拶」では私中村隼人が、皆様の前でいろいろなお話、例えばご当地での思い出話や歌舞伎の歴史などを交えながら、最後には「引窓」と「身替座禅」の解説や見どころを説明して、お芝居に入っていただけたらと思います。

皆様のご来場をお待ちしております。